



令和4年 5月 16日
第 476号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

「おはよう」「こんにちは」の影響力～二人のお客様のお話から～

校長 飯塚 進

今年度になってからも、たくさんのお客様から校長室にお越しいただいております。その中で、二人のお客様の「あいさつ」についてのお話を紹介させていただきます。

一人目は、東豊小学校で会議があったためにいらっしゃった方です。その方が東豊小学校の玄関に入ろうとしたら「こんにちは！」と元気に挨拶をしてくれた人がいたそうです。本当に気持ちのいい挨拶だったとのこと。その方はいろいろなことがあって少し悩んでいたことがあったようですが、そのあいさつをもらったら、なんだか元気になって「がんばろう」という気持ちになったそうです。

もう一人のお客様は、東豊小学校の近くに住む方です。いつも子どもたちが安全に登校できるように見守ってくださっている方です。雨の日や雪の日に道路に立っても、風邪一つひかないとのことでした。それは、毎日子どもたちが、さわやかな挨拶やお辞儀をしてくれて元気な気持ちになるからだそうです。その方は、これからも体が続く限り、子どもたちの安全を見守ってくださるそうです。

二人のお客様のお話を聞いて、私はとてもうれしくなりました。子どもたちのあいさつは、周りの人を元気にする言葉であり、その影響力は計り知れないと思いました。私自身も子どもたちからのあいさつで元気になっています。

子どもたちには、これからも「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつを自信をもって、そして、周りの人への感謝の気持ちをもってやってほしいと願います。それはやがて、自分の元気につながるとも考えます。

さて、いよいよ運動会が近づいてまいりました。応援団のみなさんは、感染対策の工夫をしながら応援練習をしてくれています。制限ある中でも精一杯工夫している子どもたちの姿に感謝の気持ちでいっぱいです。当日も感染対策が必要な状況ではありますが、温かい応援をよろしく願いいたします。